

重点目標	自己評価	手段	自己評価	手段	評価項目	肯定的評価 (%)			来年度に向けての改善策	学校運営 委員からの 御意見等
						生徒	保護	教師		
学力の 向上	3	わかる授業の充実	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全員が年間1回以上の研究授業を実施し、授業力の向上を図る。</li> <li>○ 指導法の改善工夫を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業に積極的に取り組めたか。(生徒)</li> <li>○ 理解できるように工夫されているか。(教師)</li> </ul>	88	96	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本年度は、定期テストを生徒の学力向上に効果的につなげるために、出題範囲を事前に決めて、テスト問題作成を行った。また、各教科ごとに授業等による課題や成果を基に協議を重ね、授業改善に取り組んだ。授業の工夫・改善を通し、生徒が「わかる・できる！」が実感できるように教師の授業力向上に努めていきたい。</li> <li>○ 生徒・保護者ともに授業に対して肯定的意見である。生徒は授業には積極的に取り組む姿勢がみられる。特に3年生の意識が高い。しかし、わからないところを、その日のうちに解決しない生徒が全学年を通して多い。授業の中で、必ず質問する時間の確保を設定する。</li> <li>○ 7名の「はげまし隊」の方に1年数学を中心に活動していただいている。生徒の理解度に応じて、細かい指導や学習内容理解の定着・深化に向けた支援だけでなく、学習態度等についてもサポートしていただいている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全学年、概ね生徒は積極的に授業に取り組んでいると思う。学年によって差がある点を改善してほしい。</li> <li>○ 素直にアンケートに答えていると思う。家庭学習のやり方が分からずに悩んでいた。家庭学習の方法が確立されていればよかった。</li> <li>○ 「わからないところを…」の評価は、生徒は下がっているが、職員の評価は逆に上がっている。この差をうめるための対策を考えてほしい。</li> <li>○ 質問しやすい雰囲気、質問に行きやすい環境を作してほしい。</li> <li>○ はげまし隊の活動を通して、少人数学級での学習が、生徒達にとって重要であると実感している。やりがいを感じている。</li> <li>○ 2年生の評価が低いのは、自分を見つめる目が厳しいのではないか。3年生になって強い自覚が出てきていた。</li> <li>○ はげまし隊の方々のサポートは大きい。今後も継続していただきたい。</li> <li>○ キャリア教育について、全学年を通して取り組んでいる。地域の方を含め、多くの大人と関わりをもってほしい。</li> </ul>	
		知識・技能の習得と活用 学習習慣の確立	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各教科で数値目標を設定し、基礎・基本の定着と思考力・判断力・表現力の育成を図る。</li> <li>○ 学習習慣を確立させ、自ら学ぼうとする態度を育成する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 基礎学力をつけるための努力をしているか。(生徒)</li> <li>○ 子どもは基礎学力をつけるための努力をしているか。(保護者)</li> <li>○ 基礎基本定着の手立てをとることができたか。(教師)</li> </ul>	83	67	89		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 8割を越える生徒が、基礎学力をつけるために努力をしている。基礎基本の定着及び主体的・対話的な学習活動を取り入れた授業に取り組んだ。その際「授業に対する4つのチェックポイント」を意識し、授業を進めた。保護者の肯定的評価が、昨年度より3ポイント上昇したがまだ不十分である。さらに、保護者からも納得いく結果につながるように工夫・改善を図る必要がある。</li> <li>○ 家庭学習については、昨年度に比べ保護者の肯定感は4ポイント、生徒の肯定的評価が1ポイント低下した。生徒は、基礎学力をつける努力はしているが、自宅学習への取組が不十分であると認識している。また、職員の評価は、昨年度と比較し4ポイント上がってがっているが、生徒に十分な学習習慣を付けられなかったと考えている職員が多い。毎日提出させている宅習の内容の改善や、根気強い指導を通して保護者と連携した改善を図っていく。</li> </ul>
		キャリア教育の充実	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャリア教育の視点で教育活動に繋がりをもたせ、人間関係形成能力を育成する。</li> <li>○ 日向市キャリア教育支援センター等との連携を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 進路への関心が高まったか。(生徒)</li> <li>○ 進路への関心が高まったと感じるか。(保護者)</li> <li>○ 進路意識を高めることができたか。(教師)</li> </ul>	84	72	75		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ キャリア教育については、本校の計画を基に段階的・系統的な指導を実施した。3年生の「高校による出前授業」、2年生の「職場体験学習」や1年生の「13歳のハローワーク」では、本年度も各学校や各事業所の方々から肯定的なご意見を多くいただいた。今後もこのような貴重な体験を生徒の進路意識へとつなげていながら指導の充実を図っていきたい。生徒、職員の評価も上がっている。</li> <li>○ 家庭で、夢や目標等を話し合っていると回答した保護者が本年度も8割を越えた。生徒の評価は、2ポイント下降した。今後も家庭において、将来の夢や目標を話し合う機会を増やしてもらうために、高校説明会を含め進路情報の発信を行い、より積極的に将来について話し合う機会を作ってもらえるよう関係機関への協力を要請していきたい。</li> </ul>
豊かな心の育成	3	道徳教育と人権教育の充実	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 道徳に関する研修を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 有意義な時間であるか。(生徒・保護者)</li> <li>○ 道徳教育の充実を図ることができたか。(教師)</li> </ul>	81	87	92	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本年度から「特別の教科 道徳」がスタートした。生徒・保護者とも肯定的評価が8割を越えている。道徳の評価についての研究や、授業の工夫について何回も研修を行ったため、教員の道徳の授業に対する意識が高まった。</li> <li>○ 人権教育についても、年間計画に沿って、生徒の実態に応じた各学年の取組を充実させていく。</li> <li>○ 「無言・気づきの清掃」については、生徒の評価が一番高い項目である。財光寺中の誇れる伝統であり保護者の評価も高い。昨年度と比較し、教師による評価が16ポイント下がった。生徒の清掃に対するハードルが下がっており、本来の「無言・気づきの清掃」の徹底ができていないと感じている職員が多い。充実した清掃になるよう指導していきたい。また、学校で培った奉仕の精神が家庭での手伝いや地域でのボランティア活動への意欲にもつなげていきたい。</li> <li>○ 学校生活で活躍できる場面について、生徒の評価は5ポイント上昇した。体育大会等の学校行事で充実感や達成感を実感したと思われる。保護者</li> </ul>	
		無言・気づきの清掃の深化	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 清掃活動を師弟同行の学びの場とする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 積極的に取り組めたか。(生徒)</li> <li>○ 家庭でもお手伝いしているか。(保護者)</li> <li>○ 無言清掃・気づきの清掃の充実・深化が図られたか。(教師)</li> </ul>	95	72	67		
		絆づくりの推進 生徒会活動の活性化	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 教育活動の全てで生徒が活躍できる場面を実現し、自己有用感を高める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学校生活で活躍できる場面やできそうな場面はあるか。(生徒・保護者)</li> <li>○ 自己有用感を高めることができたか。(教師)</li> </ul>	82	85	93		

									教師の結果も良好である。教師による評価は高く生徒が活躍できる場の提供はできたと考える。今後もキャリア教育の観点から、自己肯定感・自己有用感を高めるための手立てをさらに工夫改善していきたい。		
健やかな体力の育成 安全教育の推進	3	体力の向上	3	○ 新体力テストを活用する。 ○ 部活動を活性化させる。	○ スポーツ等に積極的に活動できたか。(生徒・保護者) ○ 体力向上を意識した取組はできたか。(教師)	83	86	76	○ 体力向上については、生徒・保護者の評価は良好である。今後も教師が体力向上を意識した取組を継続指導していきたい。また、教師の評価が32ポイント上昇した理由は、部活動の休養日の設定を理解し、合理的かつ効率的・効果的な活動ができるようになったためだと考えられる。	3.0	○ 生徒・保護者ともに部活動に対する意識が高。また、効率的・効果的な活動ができていると思う。
		健康的な生活習慣 安全教育の推進	3	○ 健康・安全教育の推進を図る。 ○ 食育の推進を図る。	○ 健康・衛生面を考えて生活しているか。(生徒・保護者) ○ 健康・衛生・安全面の意識を高めることができたか。(教師)	92	84	88	○ 生徒・保護者・職員ともに良好な評価となった。しかし、うがい、手洗いの励行や、喚起を呼びかけたが、インフルエンザ罹患生徒が増え、1年生の3クラス学級閉鎖を実施した。今後も学校及び家庭での手洗い、うがい、換気の徹底、マスク着用の励行について指導を継続したい。 ○ 養護教諭の指導及び保護者の皆様の御協力により、今年度の生徒の「むし歯」治癒率(2月中旬現在)が1年生93%、2年生97%、3年生100%、平均97%であり、非常に高い結果となっている。保護者の皆様の御協力に感謝したい。今後も「むし歯」に罹患する生徒を減らすとともに、治癒率100%を目指したい。 ○ 養護教諭やPTA保健部を中心に、財光寺小・財光寺南小との小中連携、財光寺中学校区学校保健委員会を年2回開催している。今年度は、「がんにする教育」「食育」について研修を行った。次年度も小中連携し取り組んでいきたい。		○ むし歯治癒率が平均97%、はととも高い数字ですばらしい。
					○ 規則正しい食生活を送っているか。(生徒・保護者) ○ 正しい食生活の習慣を身に付けさせることができたか。(教師)	93	86	85			○ 規則正しい食生活に関して、生徒、保護者、職員共に8割を超える評価をしている。食育の重要性が理解できている。
地域社会との連携 広報活動の充実	3	家庭と学校の連携推進	3	○ 通信等で積極的に発信する。	○ 学校や学級からの文書を家の人に見せているか。(生徒) ○ 通信を見て、返信もできるだけ書いているか。(保護者) ○ 通信等で積極的に発信することができたか。(教師)	86	60	84	○ 学校からの情報発信は「学校だより」「学年だより」「学級だより」等を通して、定期的に行っている。「財光寺中学校ホームページ」も随時更新し、80,974件(2/25現在)のアクセス数がカウントされている。生徒が文書を保護者に渡している数値は昨年度より3ポイント上昇している。保護者の評価結果については、返信の有無に触れているため、若干低い結果になったと考えられる。 ○ PTA広報部の皆様がPTA新聞「大樹」を年3回作成された。それぞれの号で、学校行事や、PTA活動等の記事や高校進学の情報等、積極的に取り組み発信してくださっている。来年度も保護者の皆様と連携協力していきたい。	3.1	○ ホームページが、随時更新されており、学校の行事、生徒の活動内容がよく理解できた。 ○ 本年度、財光寺商店会とタイアップして、財光寺地区の3校と地域の方と一緒に「財光寺地区クリーン作戦」の清掃活動を実施した。意義有る活動で今後も続けていってほしい。 ○ 地域の行事やボランティア活動については、参加している人の評価は高いのではないかと。 ○ 小・中・高連携を含めて、言葉だけになっているのではないかと。高校から地元を離れる傾向がある。地元に残ってほしい。 ○ 教職員の自治会の加入率はどれくらいあるのか。 ○ 地区の防災訓練に取り組んでいる生徒がおり、役だっている。
		地域社会との連携推進	2	○ 地域人材を活用する。 ○ 開かれた学校づくりを推進する。	○ 地域の行事やボランティア活動に参加できたか。(生徒・保護者) ○ 地域連携を意識した取組はできたか。(教師)	54	41	44	○ 地域人材の活用については、13歳のハローワーク、職場体験活動の行事において御協力いただいている。今後とも積極的にお願ひしていきたい。 ○ 評価結果は昨年度より6ポイント上昇している。3年生の参加が増えている。年間を通して地域等から案内がくるボランティア活動について、生徒会役員が参加生徒を募るなど、組織的に活動できている。本年度は財光寺商店会と連携して、地域の方や小学校2校の児童と一緒に「財光寺地区クリーン作戦」、清掃活動を実施し、240名を越す参加者があった。部活動等の関係もあり、参加者数に制限は出てくるが、今後とも地域の中の学校を目指して地域のボランティア活動を奨励していきたい。 ○ 保護者の皆様にも、朝のあいさつ運動や祭りの補導、体育大会の駐車場案内・整備、校内の美化活動等積極的に参加していただいている。学校にとってもとても有り難く、生徒たちにとっても良い刺激になっている。 ○ 学校と地域との連携については、区長会、財光寺商店会と連携し、充実させていく必要がある。		
		小学校との連携推進	2	○ 合同研修会を充実させる。	○ 合同研修会等を通して、小学校との連携を図ることができたか。(教師)			44	○ 昨年度と比較し、14ポイント低い数値となっている。生徒指導を含め、連携は確実に図られている。地域の児童生徒を小中で協力しながら育てていかなければならない。回数を含め、連携内容を再検討して実践していく。		○ 本年度から、学校評議員会からコミュニティスクールとなったが、あまり変化が感じられない。地域には浸透していないのではないかと。

### 次年度の方向性について

キャリア教育の視点に立って

- 1 学力を向上をめざし、基礎学力を定着させるとともに、主体的・対話的で深い学びの視点で授業に取り組み、思考力・表現力を高める。また、家庭学習の指導の充実を図る。
- 2 豊かな心を育成するために、道徳教育の一層の充実を図るとともに、生徒会活動や無言・気づきの清掃等、全ての教育活動を通して自己肯定感・自己有用感を高める。
- 3 体力の向上と健康的な生活習慣を育成するために、授業や部活動の充実を図るとともに、計画的に健康・安全教育、食育を推進する。「むし歯」を減らし、治癒率100%を目指す。
- 4 地域社会との連携を推進するために、地域人材の活用、ボランティア活動への積極的な参加を通して、地域の中の学校という意識をより一層育てていく。

